

推薦調書（実装部門）

表彰区分	指定都市・中核市・施行時特例市等	推薦都道府県	兵庫県
地方公共団体名	加古川市		
取組名称	ICTを活用した安全・安心に係るスマートシティの取組		
連携自治体、企業、団体等	加古川 ICT まちづくり協議会（(株)日建設計総合研究所、(株)日建設計、(株)日本電気株式会社、総合警備保障(株)、(株)フューチャーリンクネットワーク、(株)システムリサーチ）、(一社)コード・フォー・ジャパン		
デジタルを活用した取組の概要 （デジタルを活用した取組の全体概要と解決する個別課題の具体的内容）	（種類）	①	（左記が①の場合 の分野） 子育て
	<p>【デジタルを活用した取組の全体概要】</p> <p>○ 見守りカメラ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の通学路や学校周辺を中心に 1,475 台を設置（2017・2018 年度） （28 小学校区に各 50 台程度設置） ・プライバシー保護の観点から犯罪捜査に限り画像を活用 <p>○ 見守りサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BLE を用いた見守りタグにより、位置情報が記録されるサービス ・見守りカメラに同梱された検知器が、見守りタグを検知 ・公共施設、公用車、郵便車両にも検知器を設置 ・スマートフォンアプリ「かこがわアプリ」に検知機能を導入 <p>○ 加古川市版 Decidm を活用した加古川市スマートシティ構想の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加古川市スマートシティ構想策定（2020 年 3 月策定）時に、市民の自由なアイデアを収集するため、導入 <ul style="list-style-type: none"> ①構想の各目標に対する意見・アイデアを収集 ②収集したアイデア・意見を参考に作成した構想案について意見を収集 ③パブリックコメント <p>【実施に至る経緯・動機】・【解決する課題の具体的内容】</p> <p>○ 見守りカメラ・見守りサービス</p> <p>人口約 26 万人の当市は「子育て世代に選ばれるまち」を目指してきました。しかし、2011 年頃から人口減少局面に入り、若い世代の転出超過が続きました。その要因として、加古川市が兵庫県ワースト 4 位の高い刑法犯認知件数を記録したことが挙げられます。このような状況から、安全・安心の確保がテーマになりました。これまでから市民ニーズのあった、子どもの登下校時の安全確保等や月に十数件発生する認知症の方の行方不明事案への取組をあわせて検討しました。</p> <p>○ 加古川市版 Decidm を活用した加古川市スマートシティ構想の策定</p> <p>「加古川市スマートシティ構想」の策定にあたり、市民の意見を可能な限り反映するため、(一社)コード・フォー・ジャパンと協働で、様々なステークホルダーに参画いただき構想案について議論を深める場として、加古川市版 Decidm を全国で初めてオンライン上に立ち上げました。</p>		

<p>デジタルを活用した取組による成果（成果がわかるデータ・数値）</p>	<p>○見守りカメラの設置により、加古川市の人口 1,000 人あたり刑法犯認知件数は、見守りカメラ設置前の平成 29 年と比較して約 50%減少しています。</p> <p>【刑法犯認知件数の状況】</p> <table border="1" data-bbox="411 297 1433 584"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>加古川市</th> <th>兵庫県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 29 年 12 月末</td> <td>2,926 件</td> <td>50,821 件</td> </tr> <tr> <td>平成 30 年 12 月末</td> <td>2,407 件（前年比△17.8%）</td> <td>44,233 件（前年比△13.0%）</td> </tr> <tr> <td>令和元年 12 月末</td> <td>2,025 件（前年比△15.9%）</td> <td>40,397 件（前年比△ 8.7%）</td> </tr> <tr> <td>令和 2 年 12 月末</td> <td>1,684 件（前年比△16.8%）</td> <td>34,246 件（前年比△15.2%）</td> </tr> <tr> <td>令和 3 年 12 月末</td> <td>1,433 件（前年比△14.9%）</td> <td>30,003 件（前年比△12.4%）</td> </tr> </tbody> </table> <p>○Decidim のユーザー数 969 アカウント、トピック数 22（2022.5.20 現在）</p>	区分	加古川市	兵庫県	平成 29 年 12 月末	2,926 件	50,821 件	平成 30 年 12 月末	2,407 件（前年比△17.8%）	44,233 件（前年比△13.0%）	令和元年 12 月末	2,025 件（前年比△15.9%）	40,397 件（前年比△ 8.7%）	令和 2 年 12 月末	1,684 件（前年比△16.8%）	34,246 件（前年比△15.2%）	令和 3 年 12 月末	1,433 件（前年比△14.9%）	30,003 件（前年比△12.4%）
区分	加古川市	兵庫県																	
平成 29 年 12 月末	2,926 件	50,821 件																	
平成 30 年 12 月末	2,407 件（前年比△17.8%）	44,233 件（前年比△13.0%）																	
令和元年 12 月末	2,025 件（前年比△15.9%）	40,397 件（前年比△ 8.7%）																	
令和 2 年 12 月末	1,684 件（前年比△16.8%）	34,246 件（前年比△15.2%）																	
令和 3 年 12 月末	1,433 件（前年比△14.9%）	30,003 件（前年比△12.4%）																	
<p>本取組の特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点</p>	<p>○ 見守りカメラ・見守りサービス</p> <p>導入にあたっては、市民にアンケート調査を行い、オープンミーティングを開催するなど、見守りカメラの設置の必要性・設置場所、個人情報やプライバシーの管理などを丁寧に市民に説明し、カメラを設置してきました。また、カメラの画像利用については、「加古川市見守りカメラの設置及び管理に関する条例」を新規制定し、利用目的を犯罪捜査などに限定し、肖像権やプライバシーに配慮するため、居住スペース等を「プライバシーマスク」処理して黒くすることとしています。</p> <p>○ 加古川市版 Decidim を活用した加古川市スマートシティ構想の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Decidim の活用にあたっては、誰一人取り残さないことが重要であると認識し、オフラインでのワークショップを開催し、オンラインとオフラインを同時並行で運用し、多くの意見が集まるよう工夫しています。 ・GSCA が提唱されている「スマートシティ推進の 5 原則」による推進 <ul style="list-style-type: none"> ①透明性とプライバシー保護、②安全・安心・回復性、③相互運用性とオープン性、④公平性、社会的包摂、社会的影響、⑤運用面と財政面の持続可能性 																		
<p>今後の展望</p>	<p>単なるデジタル技術の導入ではなく、市民中心のスマートシティを実施するために、また、市民の幸福度が本当に高まっているのかどうかを継続的に計測するため、デジタル庁が準備するサイトやアンケート票などにも協力・活用し、得られた結果についても、「加古川市版 Decidim」なども活用しながら社会課題を市民と共有し、市民の幸福度を向上するスマートシティの実現を目指したいと考えています。</p>																		

見守りカメラの導入

■ 見守りカメラ

- 平成29～30年度に小学校の通学路や学校周辺を中心に約1,500台（各小学校区：50台程度）設置
- 導入にあたり、市民へのアンケートやタウンミーティング等を開催
- “加古川市見守りカメラの設置及び管理に関する条例”を新規制定
- 設置場所についても、町内会やPTAの要望、警察署のアドバイス等を反映



見守りカメラ



設置されていることを知らせる電柱幕

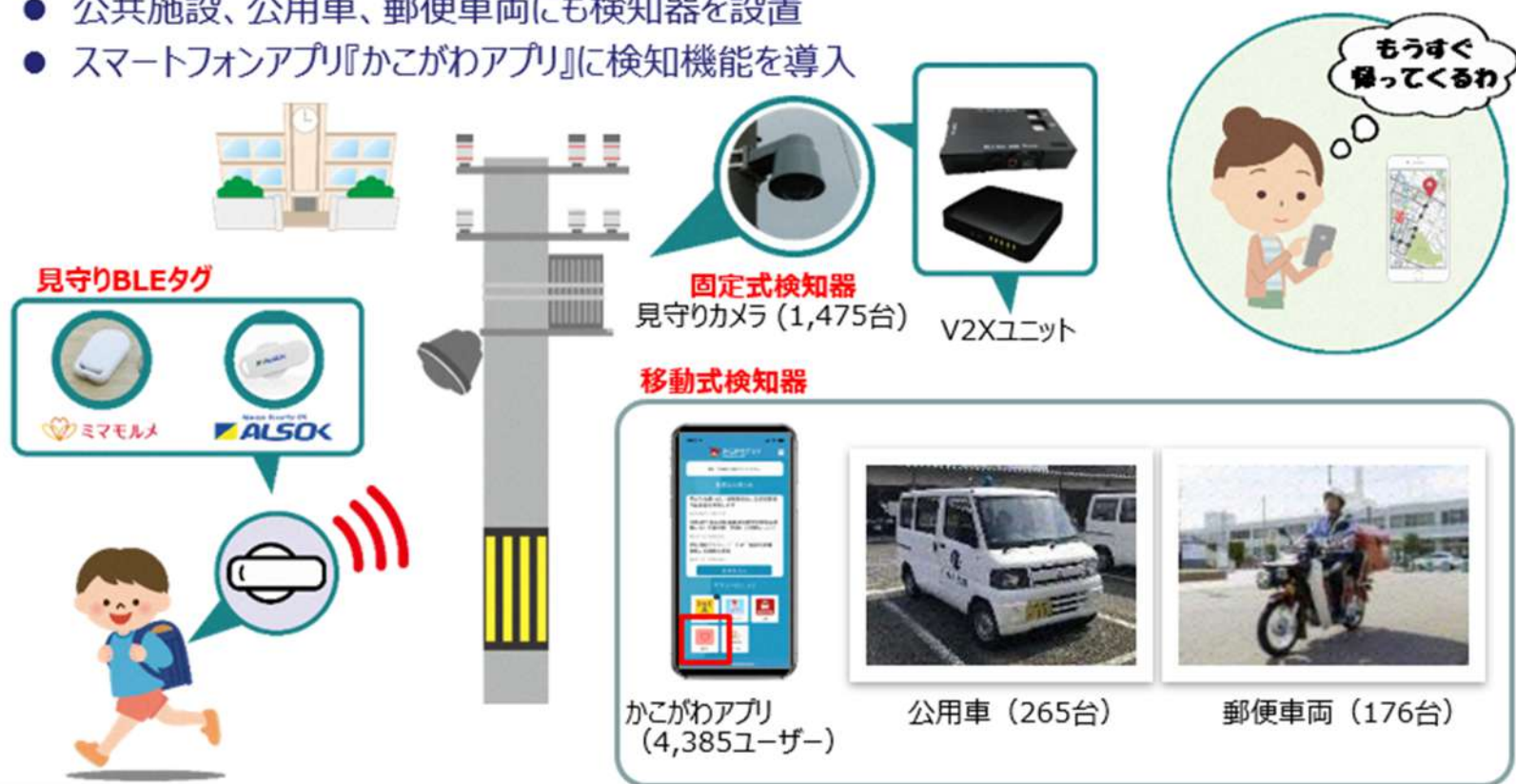
見守りカメラ設置場所
(赤点箇所)



見守りサービスの導入（官民協働事業）

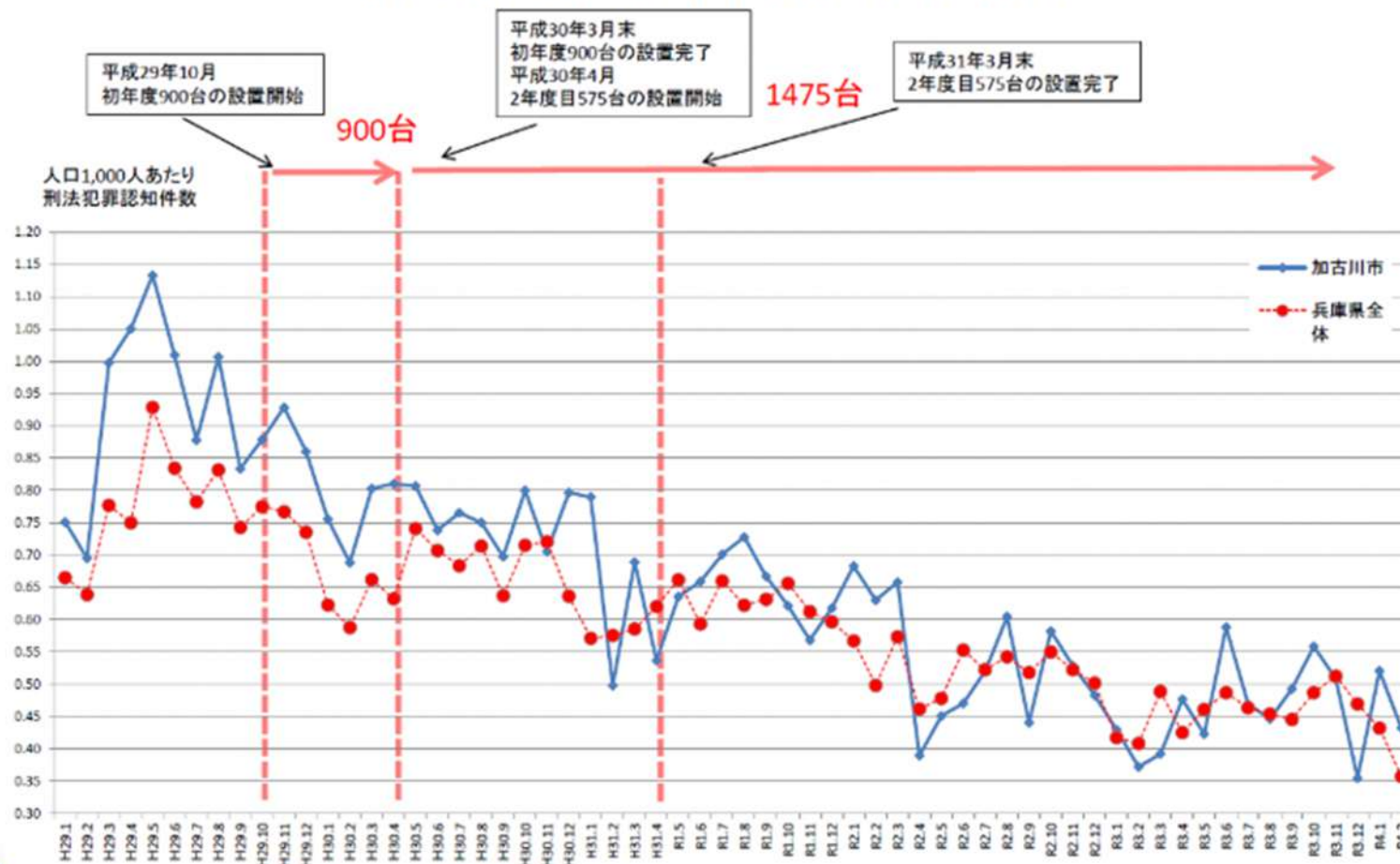
■ 見守りサービス

- Bluetooth Low Energyを用いた見守りタグにより、位置情報が記録されるサービス
- 見守りカメラに同梱された検知器が、見守りタグを検知
- 公共施設、公用車、郵便車両にも検知器を設置
- スマートフォンアプリ『かこがわアプリ』に検知機能を導入



刑法犯罪認知件数の推移 (H29.1~R4.2)

【見守りカメラ設置効果】刑法犯罪認知件数の推移



Decidimの導入

- Code for Japan と協定を締結 (R2年10月) し、Decidimを導入
 - 市民参加型合意形成プラットフォームとして、国内で初導入



2022年5月20日現在
ユーザ数 : 969
トピック数 : 22

アクティブな参加型プロセス



新たに完成する複合施設の
愛称募集 (加古川東市民病
院跡地整備事業) ※愛称が
決定しました!
アクティブフェーズ 愛称決定フェ
ーズ



加古川河川敷のにぎわいづ
くり (かわまちづくりプロ
ジェクト)
アクティブフェーズアイデア検討フ
ェーズ



みんなが使えるスマホ講座
アクティブフェーズ 初級編フェーズ





加古川市スマートシティ構想

基本理念

誰もが豊かさを享受できる スマートシティ加古川

～「幸せを実感できるまち加古川」の実現に向けて～

スマートシティ推進の5原則

(1) 透明性とプライバシー保護 (Transparency & Privacy)

データの利活用にあたっては、市民の皆さんのプライバシーの保護に十分な配慮を行います。また、市の意思決定過程における透明性の確保に努めるとともに、設置する機器に対するプライバシーリスクの潜在的な影響や脅威を評価したうえで設置します。

(2) 安全・安心・回復性 (Safety, Security & Resiliency)

自然災害、不慮の事故、情報セキュリティなどによる障害が発生した場合でも、最低限の機能が維持しながら、早期に回復できる能力を確保するように努めます。

(3) 相互運用性とオープン性 (Interoperability & Openness)

ICT技術導入の際は、システム間において様々なデータに接続することが可能となる相互運用性を担保しながらエコシステムの実現を図ります。また、データが広く社会において適正に使用されるように、組織間の壁を意識せずデータ利活用が最大限に行われるように努めます。

(4) 公平性、社会的包摂、社会的影響 (Equity, Inclusion & Societal impact)

あらゆる人材が能力を最大限発揮し、やりがいを感じられるような社会を実現するために、サービスや機会損失を発生させず誰一人取り残さないように努めます。また、その社会への影響を評価し、市民生活の向上と環境保全に努めます。

(5) 運用面と財政面の持続可能性 (Operational & Financial Sustainability)

スマートシティの実現においては、運用面・財政面の両方から持続可能でより効果的・効率的な事業であることを確認しながら実施するように努めます。

スマートシティ推進の基本目標

基本目標1【市民】市民のQOLや利便性を向上するサービス

- ① いつでもどこでもできるストレスフリーな行政手続の実現
- ② 誰にでもやさしい窓口環境の実現
- ③ 欲しい情報がすぐ手に入る効果的な情報発信
- ④ 安心して子育てをできるまちづくり
- ⑤ 高齢者にやさしいまちづくり
- ⑥ GIGA スクールの推進 (デジタル教育)
- ⑦ 行政情報の見える化

基本目標2【まち】都市機能の強化や都市課題の解決

- ① 快適に移動できるまち
- ② 安全・安心のまちづくり
- ③ 災害に強いまちづくり
- ④ にぎわいのあるまちづくり
- ⑤ インフラの整備及びメンテナンス

基本目標3【行政】デジタル行政の推進

- ① 情報のデータ化によるスムーズな窓口対応
- ② 最新技術による徹底した業務効率化
- ③ どんな時も業務継続を可能とする体制づくり
- ④ 多様なデータの利活用による新たな行政サービスの実現
- ⑤ スマートシティアーキテクトの育成

